

募 集 要 項

氏 名：松高 政	研究室：第 6 研究室棟 217 研究室
専 攻 分 野：キャリア形成支援	
演習テーマ：キャリアデザイン	E-mail:matsutaka@cc.kyoto-su.ac.jp

演習内容・主なテキスト

■テーマについて

「キャリア」と聞いて、何をイメージするでしょうか？
馬車が通ると車輪の跡が残りますね。その車輪の跡である「轍（わだち）」が「キャリア Career」の語源です。つまり生涯にわたってたどるその人の軌跡が「キャリア」です。一人ひとりにとってかけがえのない「人生＝キャリア」を主体的に「デザイン」（設計・再設計）していくこと、それが「キャリアデザイン」です。

松高ゼミでは、卒業後の長い人生をどのように過ごしていくのか、「キャリアデザイン」をテーマに考えていきます。

生き方・働き方が多様になってきた今、自分のキャリアを自分で構築していくチカラが求められています。一人ひとりが、生き方、学び方、働き方をめぐる社会のしくみや変化をしっかりと理解し、自立／自律的に自ら学び、考え、行動できるチカラ—まさにキャリアデザインのチカラを身につけていくことが求められているのです。

■卒業後、活躍するための実力をつけます

社会で求められる「考える」「伝える」「行動する」チカラを身につけます。毎回の授業で、繰り返し考え、プレゼンしてもらいます。大事なことは、とくにかく「考え抜く」こと、「こだわる」ことです。そして、「自分のことば」で伝えるのです。必ず力はつきますので、それだけの覚悟を持って参加をしてください。企業との協力、ゼミ外の活動を通して実践的に学んでいきます。

■就職活動の指導をしっかりと行います

松高ゼミは「就職に強いゼミ」です。企業人事担当者2名に「顧問」になっていただいています。働くこと、仕事のこと・・・実践的な指導を受けることができます。先輩学生も自分の経験を伝え、後輩学生をしっかりとサポートしていきます。就職活動の指導はかなりきめ細かく行っています。

■ゼミの進め方

ゼミの内容、運営について、ゼミ長、副ゼミ長を中心にゼミ生にかなりの部分を任せます。「ゼミ＝組織（企業）」、「活動＝仕事」と捉え、ゼミ生が主体的に取り組むことにより、仕事の進め方を実践的に経験してもらいます。

そのため、担当教員とゼミ生は「教員－学生」という関係だけではなく「上司－部下」という関係に広がります。ゼミでの活動は「仕事」として位置付けます。仕事とは、きちんと成果を出すことです。そのためには「Plan→DO→Check→Action」というサイクルが不可欠です。このサイクルを実行することで、「組織をマネジメント」することの

意味を体感し、自分の力としてもらいます。

このようなゼミにしていくために、以下の点を大事にします。

- ・「競争」と「協調」を合言葉に、学生同士が切磋琢磨する環境を作りあげる
- ・他人のために頑張ることができ、他者からみて「一緒に行動したい」と思われる思考と行動が出来る＝チームワークに優れた仲間関係を構築している
- ・難関と言われる就職先も含め、納得できる進路を全員が獲得できるよう、チャレンジしてくマインドが共有されている

＜演習1＞

「考えて」「伝える」ための基礎トレーニングを行います。具体的には、指定図書、新聞記事を要約し、自分の意見を加えて発表（プレゼンテーション）してもらいます。その成果を実践する機会として、日経新聞に投稿をしています。毎年、掲載されるゼミゼミ生がいます。

＜演習2＞

「考えて」「伝える」ための基礎トレーニングを引き続き行います。「キャリアデザイン」についてグループで調べ、発表し、ディスカッションも行います。「キャリアの葉（しおり）」というプロジェクトも実施します。社会人にキャリアについてインタビューし、それを動画で撮影、編集し映像作品に仕上げます。

＜演習3＞

ゼミを中心的に運営してもらい、「考えて」「伝える」ため力をさらに高めていきます。経営学部で学んだ知識を実践的に活用するために「ビジネスプランコンテスト」に応募します。過去には何度も入賞した実績があります。魅力的な社会人へのインタビューを動画として編集する「就活の葉」プロジェクトを通して、将来の生き方、働き方について具体的に考えていきます。

＜演習4＞

自らのキャリアデザインを実現するために、後半からは就職活動に向けて本格的に準備を進めていきます。インターンシップにも参加し、これまでの学びを深めてきます。

＜演習5・6＞

自分の関心あるテーマについて、卒業論文を完成させます。大学で学んだことの集大成として、社会に出ていくための準備としてまとめてもらいます。就職活動について後輩学生の指導・サポートも担ってもらいます。

■教員からの要望

自らのキャリアを前向きに形成していこうとする姿勢、自分の頭で考え、自分のことばで伝え、自分の意思で行動しようとする姿勢、このようなマインドを持った学生は、社会（企業）から見るととても魅力的です。

どうしたらそのような学生を育て、社会に送り出すことができるのか、私が最も関心のあるところです。ゼミ生には、そのような学生になってもらいたいと強く願っています。自らプロジェクトを企画しリーダーとして取り組んでもらうこともあります。外部との合同プロジェクト、ビジネスプランコンテスト等にも参加してもらいます。多くの時間とエネルギーをゼミに費やすこととなりますが、最後までしっかりとやり遂げる気持ちで参加してください。

やる時は真剣にやり、遊ぶ時は大いに遊びましょう!! 卒業する時に「松高ゼミに入ってよかった!!」と全員が想えるようなゼミにしたいと思います。

自分の将来を真剣に考えて、自分を成長させたい、そんな意欲のある学生を大歓迎します!!

■履修希望科目

特に定めませんが、幅広く学んでください。

■教員の自己紹介

埼玉県の浦和（さいたま市）出身です。浦和は「サッカーの街」として知られJリーグの浦和レッズの本拠地です。浦和レッズに限らず、国内外のサッカー、スポーツが大好きです。私自身は、中高大とずっとソフトテニスをしてきました。今でも現役プレイヤー!?としてやっています。飲んだり、食べたりも大好きで、その成果として体重が増加傾向にあるのですが、スポーツを通して 20 代の体型を目指して日夜頑張っています!!

大学教員になる前には民間企業で長く働いていました。その経験も踏まえてゼミを運営していきますので、楽しく頑張ってください!!

■ゼミ生からの紹介

松高ゼミは色んなことにチャレンジできる、自分を成長させるのにはもってこいのゼミです!! 自分たちで作りに上げていくゼミです。ゼミ生で企画を考えたり、インターシップ体験、様々な業種の社会人もゼミに来ていただき、他のゼミでは経験できないことも多くてすごく充実感があります!!

ゼミ生もみんなめっちゃめっちゃ仲がいい! いつも楽しい雰囲気で活動していて、遊ぶ時は思いっきり遊び、やるときは責任を持ってやる、メリハリがついたゼミです! 何かにチャレンジしたい、成長させたいと考えている方ぜひどうぞ!!

ゼミの雰囲気としては、先生と学生との距離がとても近く、先生も交えて飲みに行ったりします。先輩・後輩の交流も多く、合宿、BBQ パーティー、クリスマス会をやったりと、ゼミ生の仲がとても良いので、和やかな雰囲気の中で毎週のゼミ活動を行っています。

しかし、和やかというのは決して「緩い」ということではなく、ゼミでの活動は真剣そのもの、厳しいこともあります。

「緩く、厳しく」が、このゼミの特徴的な雰囲気と言えるでしょう。

(松高ゼミ生一同より)